



全国学力・学習状況調査の結果について

4月19日(火)に6年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果についてお知らせします。今年度の教科に関する調査では、国語・算数・理科の3教科を実施しました。中小学校の平均正答率は、3教科いずれも岐阜県平均、全国平均を上回る結果となりました。質問紙調査も含め、本校児童において力が付いている面や課題、今後の取り組みについてまとめました。

【教科に関する調査】

〈国語〉

- ・話し言葉と書き言葉の違いについて、よく理解できていました。
- ・物語を読み、人物像や物語の全体像を想像したり、表現の効果を考えたりする問題がよくできていました。その一方で、登場人物の相互関係について、描写を基に捉える問題に課題が見られました。
- これまでも学習課題について、根拠を明らかにして自分の考えをつくることを大切にしてきました。今後、漢字や言葉の意味など、基礎的・基本的な内容の定着を図りながら、言葉を大切にして考える活動に力を入れていきます。

〈算数〉

- ・伴って変わる2つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量を求める問題がよくできていました。また、図形を構成する要素(辺の長さや角の大きさなど)に着目して、図形の構成の仕方について考察する問題がよくできていました。
- ・2つの数の最小公倍数を求める問題や、百分率で表された割合と基準量から比較量を求める問題に課題が見られました。
- 立式や計算ができるだけでなく、「どうしてこの式になるのか」など、判断の根拠を明らかにしたり、仲間の考え方との共通点や相違点を見出したりする活動を大切に、思考力・判断力・表現力を伸ばしていきます。

〈理科〉

- ・科学的な言葉や概念を日常生活との関わりの中で理解する問題がよくできていました。
- ・問題解決に必要な実験方法や適切な記録について判断する問題がよくできていました。また、自分で発想した予想と実験の結果を基に考察し、より科学的な考えをつくり出す問題もよくできていました。
- ・提示された情報や観察などで得た結果を複数の視点で分析、解釈し、自分の考えをもつ問題に課題が見られました。
- 児童が、自らの疑問や課題を解決するために、見通しをもって調べる活動を大切にするとともに、多面的に分析、考察することにより、学びを深めていけるような授業づくりを行っていきます。

【質問紙調査】

- ・授業では、課題解決に向けて、自分から取り組んだり、仲間と話し合い、考えを深め広げたりしていると、児童自身が実感をもっています。また、多くの児童が、自分と違う意見について考えることに楽しさを感じています。→今後も、児童が主体的に対話する活動を大切にしていきます。
- ・授業で使用するタブレット端末などのICT機器は、仲間と意見を共有する場面で活用していると多くの児童が感じており、勉強の役に立つという実感ももっています。→ICT機器を有効に活用し、「できる」喜びを味わい、学びを深めていけるような授業を工夫していきます。
- ・新型コロナウイルスの影響により、地域行事が縮小され、参加する機会が減っていますが、地域の役に立ちたいという思いをもっており、進んで行事にも参加しています。→今後も、地域のよさを理解し、地域で活躍できるように支えていくことを大切にします。